

平成 26 年度文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業
メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証
(略称:メイクアップ アドバンス プロジェクト・新技術の導入と応用)

学修達成度評価方法の検討と評価基準の作成

2015 年 2 月

メイクアップ アドバンス プロジェクト

達成度評価委員会

ADVANCED MAKEUP PROJECT

目 的

メイクアップ アドバンス プロジェクトでは、中核的専門人材の育成のために、メイクアップ アドバンスとして、タトゥカバー、エアブラシ メイクアップ アート、特殊メイク、死化粧のカリキュラムを作成し、実証講座を行うこととし、カリキュラムの有効性や有用性は別途アンケート調査を行い評価することとし、また、受講生の講座内容の理解や技術の修得度を評価するために、達成度評価方法を検討することとした。

しかしながら、メイクアップ分野においては、国家資格や国家検定はないため、多くの民間検定組織(美容コンソシアムの調査では 40 を超える)が乱立し、統一された評価方法はない。また、レベル分けにおいても、初級、中級、上級の考え方が全く異なる。そのため、本プロジェクトがアドバンスレベルと位置付ける実証講座の達成度評価は、基本レベルの評価方法との整合性が取れず、ブロック的キャリアアップの積み上げや段位制度の構築をすることができない。したがってメイクアップ基本レベルの達成度評価を含め、メイクアップ アドバンスの実証講座の個々の講座をアドバンスとして位置づけ達成度評価を行うこととした。

さらに、グローバル化の進展になかで、日本におけるメイクアップの在り方について、法的規制を踏まえて議論することとした。

方 法

1、学修達成度評価について

具体的には、評価のためのレベルの基本フレームワークをハンドアプライメイクにおいて設計し、アドバンスレベルとしてエアブラシ メイクアップ、カバーメイク、エアブラシアート、特殊メイク、死化粧を位置づけ、各々の学修達成度評価方法を検討することとした。中核的専門人材は、アドバンスレベルの修得は必須であり、初級、中級、上級の体系的レベルのフレームワークに従い、体系的にレベルアップすることができる。本プロジェクトでは、いかなる方法によってコンセンサスを得るかを検討したが、レベルの基本フレームワークはコンセンサスを得ることが難しいことより、文部科学省中央教育審議会で提唱された「ルーブリックを活用したアセスメント」を導入することとし、ルーブリックによる評価のための、評価規準と採点基準の評価マトリックスの作成をすることにした。数回の会議を経て、ルーブリック評価マトリックスをまとめることとした。本プロジェクトにて実証講座を行うアドバンスレベルでは、実証講座のカリキュラムにしたがって、中級、上級レベルの評価方法を行えば良いので、比較的簡単にコンセンサスを得ることができる。3つの部会(ハンドアプライ、エアブラシ、特殊メイク)でそれぞれルーブリック評価マトリックスの作成を行う。死化粧については、技術的な評価はハンドアプライとかわらないため、またエアブラシは導入されたばかりであり、試行錯誤の段階にある。遺体修復等は特殊メイクの技術であり、これもまた試行錯誤の段階にある。そのため、死化粧ではルーブリック評価は次回の課題となる。

ADVANCED MAKEUP PROJECT

評価のための会議の準備あたり、以下のものを参照した。

・中核的人材養成については成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/_icsFiles/afieldfile/2012/04/03/1319412_02_1.pdf

・達成度評価の事例

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2012/11/14/1322398_05_1.pdf

・ルーブリック評価については以下のHPより参照。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/015/attach/1314260.htm

Introduction to Rubrics ルーブリック評価入門 Dannelle D. Stevens and Antonia J. Levi 著
ISBN978-4-472-40477-1

・美容におけるキャリアアップや段位制度は、国の本事業において委託をうけたハリウッド美容専門学校の平成 25 年度の報告書。

<http://www.hollywood.ac.jp/pdf/jigyouseika/25hollyjigyoku1.pdf>

2、国際比較を通じた、法的資格制度と教育機関

平成 25 年度の文部科学省 成長分野等における中核的専門人材養成の戦略推進事業において、本プロジェクトの上部組織である、美容コンソーシアムよって、「美容分野の専門人材育成を支援する産学官連携コンソーシアムの組織」の成果報告書(平成 26 年 3 月学校法人メイ・ウシヤマ学園)が提出されている。

この報告書 (<http://www.hollywood.ac.jp/pdf/jigyouseika/25hollyjigyoku2.pdf>) は、東南アジア(中国、台湾、韓国等)の美容を取り巻く環境や法制度、資格制度、教育内容等の現状を報告している。本メイクアップ アドバンス プロジェクトでも、グローバルな見地に立ち、グローバルな競争環境に通じる資格制度の確立が必要であると考えられる。そのために、日本の現行法制度を踏まえ、どのような対応が必要であるかを議論する。(この報告書は <http://www.hollywood.ac.jp/pdf/jigyouseika/25hollyjigyoku2.pdf> よりダウンロードできます(227 頁))。

特に 109 頁(1.3 教員機関・制度現状調査)以降において述べられる諸外国のメイクアップの国家資格の存在は、日本と全く異なり、国家資格取得による技術・知識の国際的保証において、日本のメイクアップ分野は遅れているために、今後の国際競争力の低下を懸念するものであります。

美容師法における、美容師のメイクアップの専属的職種と現況実体のミスマッチについて
そのような改革、改正が必要であるかまた、実行計画を策定できるか？

ADVANCED MAKEUP PROJECT

評価方法の策定

評価マトリックスは初級、中級、上級の3レベルに分け、それぞれ作成し、評価項目（規準）を3～4つの採点基準(A,B,C 評価)で評価することとした。

ルーブリック評価マトリックス自体は絶対的なものではなく、特に感性や主観に訴えるものの評価には向かないが、評価マトリックスは、評価の際に恣意的なものを排除し、だれが評価しても中立的な評価結果が得られる。また、評価マトリックスは教授する者が自己の教育目的にあわせ変更することによって、柔軟な対応ができる。また、態度や出席率なども評価規準とし、他の規準との採点においてウェイトを付けることによって、全体評価をすることもできる。

教授側は、講義にあたり、生徒に対し当該講義の目的と採点方法を示すことができ、講義の方向性が明瞭となる。生徒側は評価規準と採点基準によって、各項目の重要内容を容易に把握でき、評価によって自己の弱点を知ることができる。

評価マトリックスは、初級、中級、上級で評価項目(規準)は異なるが、同じ評価項目でも、その採点基準は異なる。例えば、エアブラシでは、基本知識は初級では機械等の構造や使用方法の知識が中心となるが、中級ではそれらの組み合わせや、それらを使用する背景などの理解にも採点基準が設けられる。技術面においても、初級ではできるかどうか採点基準であるのに対し、中級では基本技術を組み合わせ対応できるかどうか採点基準となる。

今回作成したルーブリック評価マトリックスは理論・技術の修得度合いを評価するためのものであり、その他の要素の規準は省略してある。そのため、教授される方は、独自の評価マトリックスを構築するか、添付のマトリックスを再編成することが必要である。

評価マトリックスは以下のものを策定する。

① メイクアップ全般

フレームワーク全体を決定するものであり、数名のメイクアップ検定に携わる委員によって行う。初級レベルのコンセンサスは得られるものの中級以上においては難航することが予想される。

実証講座に関する分野ごとの評価マトリックス

カリキュラム従った評価マトリックスの策定であり、その評価マトリックスの策定は比較的コンセンサスが得られる。各部会の委員によって行う。

- ② エアブラシメイク
- ③ カバーメイク
- ④ エアブラシアート
- ⑤ 特殊メイク

報 告

1:学修達成度評価

各部会での報告書または評価マトリックスを添付する。

① メイクアップ全般

報告書添付

評価マトリックス、初級、中級

② エアーブラシメイク

評価マトリックス添付:初級、中級、上級については参考程度とする。

③ カバーメイク

評価マトリックス添付:中級

④ エアーブラシ ボディアート

評価マトリックス添付:中級

⑤ 特殊メイク

評価マトリックス添付:傷メイク初級

具体的カリキュラムによる評価マトリックスの作成は比較的容易にできたが、メイクアップ全般にわたる、レベルスキームの構築による評価マトリックスのコンセンサスを得ることは容易ではない。さらに、レベルスキームを精査する必要がある。レベルスキームの構築に当たり、より多くの参加者によって議論される必要がある。乱立するメイク検定メイク検定の統一を見据えたレベルスキームのコンセンサスと検定における段位制度構築のための評価マトリックスの策定が必要である。次年度においては、評価の拡大委員会を模索し、検定の運営母体の組織化等を目指す。

2:国際比較を通じた、法的資格制度と教育機関

① グローバル比較より、日本の美容法が特異であることが認識できた。

多くの国では、ヘアー、メイク、ネイル、エステ等に資格が分かれているが、日本は美容師(ヘアー編重)の包括的、職業独占的(資格のないものはなにもできないまた、資格があるものは何でもできる)となっている。

② 美容師資格による、メイクの包摂は、メイクの需要と供給のミスマッチとなり、現実社会においてすでに顕在化しており、そのような事例が多く指摘された。

③ 美容師免許を取らないメイク学科等の生徒数の減少やメイク学科からブライダル科等への組織変更がみられ、また、メイク学科卒業生の美容科への再入学による非効率がある。

④ 外国人留学生が日本にメイクを習いに来ても、資格を与えられないことは、国際競争力を阻害する。

⑤ 法的規制や運用への何らかのアクションが必要であるが、具体的行動方針はまとまらないのが現状である。

⑥ しかしながら、既に、教師陣サイドでは、この矛盾は分に承知されていることが確認できた。

次年度では、この点における調査に踏み込み現実的にデータを示し、立証する必要がある。

ハンドアプライを中心とした
メイクアップ全般における評価マトリックスの策定

平成 27 年 2 月

達成度評価委員会

アドバンス メイクアップ プロジェクト

BEAUTY

●会議主旨

本プロジェクトでは中核的人材養成のためのカリキュラム作成と生徒の達成度評価方法を行います。カリキュラム自体の内容によってその達成度評価方法は異なります。

現在、日本にはメイクアップに関する検定が各協会、団体ごとに20近く存在します。そして、それぞれのメイク検定評価が活躍を要する機関に浸透されず、メイク技術の基準が曖昧になっている問題点がございます。メイクアップを学んだ者が、メイクアップ要する職場でメイクの資格を必要とされず、活躍の場が制限されてしまう事が、最大の問題かと思えます。

今回の会議で、メイクアップビューティー部門に於いて、最低限メイクを職業にする上で、必要不可欠なチェック項目は何なのか？
また、その技術チェック項目がメイク業界で活躍する事を志す者にとって、重要な技術基準となるよう、国の公認資格となり得る内容項目を検討致します。

●まず最初に

メイクアップを必要とする分野も、多種多様で専門性の追求の先に技術の向上が図れる分野である事が殆どです。

メイク分野の中のビューティー部門に於いて、軸となる評価ポイントは、（基本のメイク、TPOに合わせたメイク、皮膚衛生学、マナー）等ではないかと思えます。

その点に於いてメイクアップ BEAUTY 分野のルーブリックを検討します。

● 1 回目会議

現在のメイク学校と、メイク業界に於いて起こっている矛盾点のヒアリング

- ・活躍する現場でメイクの検定資格が通用されず、全くメイクとは異なる国家資格美容免許が適応されている。
- ・世界中からメイクを学びに日本へ来ているのに、確固たる資格の提供が出来ていない。
- ・まず3段階で初級・中級・上級でチェック項目を設定する場合、そのような項目が必要となるのか考案指示。

● 2 回目会議

3段階で考案したチェック項目を、すり合わせ再検討。

初級案の方向性は固まったものの、中級・上級にバラつきが見え、

各級での技術を必要とする職業に結びつけ、中級・上級の再考案を指示。

初級該当職業：美容部員

美容師

エステティシャン

写真館

中級該当職業：美容部員スキルアップ

美容師スキルアップ

ブライダル

フォトスタジオ

上級該当職業 雑誌撮影現場メイク

映像撮影現場メイク

舞台メイク

モデル・タレントメイク

メイクインストラクター

メイクアップ講師

アーティストワーク

● 3 回目会議

再考案した中級・上級の項目のチェックを行い、今回の会議をまとめる。

会議した結果、専門性、芸術性が問われる上級スキルに関しての評価基準を見

出すのは、難しい結果となり、今回は中級までのチェックポイントをまとめま

す。

ADVANCED MAKEUP PROJECT

考案内容

メイクアップ検定	初級		
	優秀	合格	不可
知識・理論 採点評価 30%	皮膚生理学を十分理解している 基礎化粧品を理解十分理解している。	皮膚生理学を理解している	皮膚生理学を十分理解していない
		基礎化粧品を理解理解	基礎化粧品を十分理解していない
	メイクアイテムを十分理解している	メイクアイテムを理解している	メイクアイテムを十分理解している
	顔の名称を十分理解している	顔の名称を理解している	顔の名称を十分理解していない
技術・実習 採点評価 50%	モデルの肌コンディションを十分に理解している	モデルの肌コンディションを理解している	モデルの肌コンディションを十分に理解していない
	ベースメイクがモデルに綺麗にできる	ベースメイクがモデルにできる	ベースメイクがモデルに出来ていない。
	アイブロウが、左右対称に描けデザインモデルに合っている。	アイブロウが、左右対称に描けている。	アイブロウが、左右対称に描けていない。
	アイシャドウの色とデザインがモデルに似合っている。	アイシャドウがムラなくメイク出来ている	アイシャドウがムラになりモデルに似合っていない。
	アイラインが綺麗に描けモデルに似合っている。	アイラインが綺麗に描けている。	アイラインが綺麗に描けずモデルに似合っていない。
	マスカラが綺麗につけられる	マスカラがつけられる	マスカラが上手くつけられない
	チークが左右対称に塗布出来色もデザインもモデルに似合っている。	チークが左右対称に塗布出来ている。	チークが左右対称に塗布出来ていない。
	リップが綺麗に描け、デザイン色がモデルに似合っている。	リップが綺麗に描けている。	リップが綺麗に描けていない。
	ナチュラルメイクが上手にできモデルに似合っている。	ナチュラルメイクが上手にできる	ナチュラルメイクが上手に出来ない。
クリエイティブ 芸術性 採点評価 10%	モデルの骨格を理解してバランスの良いナチュラルメイクが出来、モデルに似合っている。	モデルにナチュラルメイクが出来ている。	モデルにナチュラルメイクが出来ていない。
コミュニケーション マナー 採点評価 10%	メイク準備が完璧である。	メイクの準備が出来ている。	メイクの準備が不十分である。
	お客様と上手に会話ができる	お客様と会話出来る。	お客様と上手に会話が出きない。
	言葉づかいを気にして上手に会話出来る。	言葉づかいを気にして会話出来る。	言葉づかいを気にして上手に会話出来ない。

ADVANCED MAKEUP PROJECT

メイクアップ検定	中級		
	優秀	合格	不可
知識・理論	色彩を十分理解している	色彩を理解している	色彩を十分理解していない
採点評価 30%	照明によるメイクの変化を十分理解している。	照明によるメイクの変化を理解している。	照明によるメイクの変化を理解していない。
技術・実習	ファンデーションの種類を理解し、用途に合わせ選び使いこなす事が出来る。	ファンデーションの種類を理解し、用途に合わせ選ぶ事が出来る	ファンデーションの種類を十分に理解していない
採点評価 50%	骨格分析が十分に出来る	骨格分析が出来る。	骨格分析が出来ない。
	洋装ブライダルのドレス、ヘアに色デザインがモデルに合っている。	洋装ブライダルのドレス、ヘアに合わせメイク出来ている。	洋装ブライダルのドレス、ヘアがモデルに似合っていない。
	和装メイクが着物、帯、ヘアに色デザインがモデルに合っている。	和装メイクが着物、帯、ヘアに合わせメイク出来ている。	和装メイクが着物、帯、ヘアがモデルに似合っていない。
	イメージ変化メイクを十分に理解し色デザインがモデルに合っている。	和装メイクが着物、帯、ヘアに合わせてメイク出来ている。	和装メイクが着物、帯、ヘアモデルに似合っていない。
	年代メイクの特長を理解し、モデルの骨格に合わせてメイク出来る。	年代メイクのデザインを理解し、モデルに合わせてメイク出来る。	年代メイクのデザイン特長を理解出来ない。
	撮影現場でのライティングを理解しメイク出来モデルに似合っている。	撮影現場でライティングを理解しメイク出来ている。	撮影現場でライティングを理解出来ない。
クリエイティブ 芸術性	モデルの骨格を理解して目的別メイクが出来、モデルに似合っている。	モデルの骨格を理解して目的別メイクが出来ている。	モデルにナチュラルメイクが出来ていない。
採点評価 10%			
コミュニケーション	お客様の話を十分に聞き出し、要望を理解する事が出来る。	お客様の話を聞き出し、要望を理解する事が出来る。	お客様の話を聞くことが出来ず、要望も聞き出せない。
マナー	お客様と上手に会話ができる	お客様と会話出来る。	お客様と上手に会話が出きない。
採点評価 10%	言葉づかいを気にして上手に会話出来る。	言葉づかいを気にして会話出来る。	言葉づかいを気にして、上手に会話出来ない。

ADVANCED MAKEUP PROJECT

参考(各委員の案の比較)

分かりするために、職業によるレベルの分け方の提案

	初級	中級	上級
職業	美容部員	美容部員スキルアップ	雑誌撮影現場メイク
	美容師	美容師スキルアップ	映像撮影現場メイク
	フォトスタジオ	ブライダル	舞台メイク
		フォトスタジオ	モデル・タレントヘアメイク
			メイクインストラクター
			メイクアップ講師
			アーティストワーク

初級においては、通常のメイクでき、説明できる程度であればよいというコンセンサスを得ることはできた。

中級、上級になるとコンセンサスを得ることはできなかった。そのため、わかりやすくするために、職業別によってレベル分けを行い、それをベースとしてどのような評価項目が必要であるかを、各自検討し、全体を照らし合わせることにした。

具体的には以下のマトリックの雛形に各自、評価項目(規準)、チェック項目(採点基準)、チェックポイントを書き提出することとし、それらを全体ですりあわせることとする。

MAKE UP BEAUTY							
まずは、下記のフォーマットにご記入下さい。							
項目、チェックポイントは、増やして頂いても構いませんが、現時点ではあまり細かくならないようお願い致します。							
	項目		チェック項目	チェックポイント	評価		
					良い	普通	悪い
1		1					
		2					
		3					
2		1					
		2					
		3					
3		1					
		2					
		3					
4		1					
		2					
		3					
5		1					
		2					
		3					

会議の中でも、『中核的人材の育成』をどの範囲で捉えるかが難しい点となっております。
 しかしながら、今回はまずは中核的人材はいわゆる教員(基礎知識や知見を備え、技術枝を修得しており、教授することができる人)といった内容で考えていきたいと思っております。
 『メイクアップ ビューティー』とありますが、上記の意味合いを踏まえた上での内容をご検討下さい。
 ※評価の部分は、気にしないで大丈夫です。

ADVANCED MAKEUP PROJECT

サンプルA

以下のようなシートが各委員から提出される。

初級						
項目		チェック項目	チェックポイント	良い	普通	悪い
1	道具準備と肌の構造	1 道具の名称と準備	道具名称を理解、準備ができる			
		2 それぞれの使用目的	道具の使用目的を理解			
		3 肌の基本構造	肌の構造を理解できる			
2	肌の構造とスキンケア	1 スキンケアの目的	それぞれの使用目的を理解			
		2 スキンケア施術	化粧品の使いこなし			
		3 バックの種類と施術法	様々なバックの目的を理解			
3	ベースメイクアップ 1	1 コントロールカラー	部分的な肌色調整を理解			
		2 コンシーラー	目的を理解し使いこなせる			
		3 ファンデーションの種類	様々な種類と特性を理解			
4	ベースメイクアップ 2	1 リキッドファンデーション	手指を使っての塗布			
		2 フェイスパウダー	均一に塗布できる			
		3 ハイライト&コントラー	正しい位置の理解			
5	フェイスプロポーション	1 理想的なプロポーション	フェースプロポーションの理解			
		2 人種による違い	人種間のパーツ配置を理解			
		3 自身の顔分析(2D)	自身の顔型、パーツ配置を理解			
6	アイブロウ	1 基本のプロポーション	基本的な眉型を理解			
		2 道具の種類	様々な種類と特性を理解			
		3 施術	左右の非対称に気づける			
7	アイシャドウ	1 道具の選択	アイシャドウタイプとブラシの選択			
		2 様々な入れ方	縦割り、横割り等の理解			
		3 まぶたの立体感	明暗での立体感表現			
8	アイライン、マスカラ	1 アイラインの種類と使用法	様々な種類と特性を理解			
		2 ビューラーの使用法	自分にやる際との違いを理解			
		3 マスカラ施術	均一に塗布できる			
9	リップ	1 道具の選択	適切なブラシが選択できる			
		2 シェイプによるイメージ変化	様々なライン取り			
		3 化粧品の選択	ペンシル、リップスティック、グロス			
10	チーク	1 チークカラーの目的	顔色の調整、小顔効果			
		2 入れる位置を理解	顔型による位置変化を理解			
		3 入れる向きを理解	入れ方によるイメージ変化を理解			

中級						
項目		チェック項目	チェックポイント	良い	普通	悪い
1	パーティメイク	1 ナチュラルメイクとの違い	デイリーメイクとの違いを理解			
		2 クリームファンデーション	スポンジによる塗布			
		3 ポイントメイク	カラーセレクト、付けまつ毛、等			
2	和装メイク	1 平面美の理解	立体美との違いを理解			
		2 黒留袖のメイク	伝統的な和装メイクを理解			
		3 振袖のメイク	現代的な和装メイクを理解			
3	立体分析	1 黄金比の理解	理想的な顔の立体感を理解			
		2 自身の顔分析(3D)	自分の顔の面取りができる			
		3 他者の顔分析(3D)	他者の顔の面取りができる			
4	骨格分析	1 骸骨の分析	人間の顔の骨格の理解			
		2 自身の顔の分析	自分の顔の凹凸が認識できる			
		3 自身の顔を骸骨にする	自分の顔を骸骨にできる			
5	変身メイクと模写	1 変身願望の理解	なぜ他者になりたがるか理解			
		2 別人に似せるメイク	タレントに似せるメイクができる			
		3 他アーティスト作品模写	アーティスト的な作品を模写			
6	ブライダルメイク	1 清潔感の表現	メイクでの清潔感表現ができる			
		2 上品さの表現	メイクでの上品感表現ができる			
		3 デコルテ、手のメイク	水白粉が使用できる			
7	似合う色の見つけ方	1 色彩学の基礎	色の三属性の理解			
		2 カラーコーディネーション	色が肌色に与える影響を理解			
		3 肌色、髪色、瞳色の分析	似合う色を見つけれられる			
8	カウンセリング法	1 悩みを引き出す方法	日頃の悩みを聞きだせる			
		2 技術的な解決法	悩みを解決する技術がある			
		3 説明に必要な理論	施術内容を説明する力がある			
9	化粧品販売の為のメイク	1 希望イメージの引き出し方	なりたいたいイメージを聞きだせる			
		2 提案力	新たなイメージを提案できる			
		3 製品魅力が伝わる使い方	製品の発色を意識できる			
10	スチール撮影のメイク	1 リキッドFDをブラシで塗布	指、スポンジとの違いを理解			
		2 クリームチーク&アイカラー	パウダータイプとの違いを理解			
		3 フラッシュによる色変化	色とびと対応策を理解			

ADVANCED MAKEUP PROJECT

上級						
項目		チェック項目	チェックポイント	良い	普通	悪い
1	1930年代のメイク	1 時代背景の理解	ハリウッド映画の歴史 ～1939			
		2 眉つぶし	眉を消すテクニック			
		3 モノクロ撮影の注意点	カラー撮影との違いを理解			
2	1950年代のメイク	1 時代背景の理解	ハリウッド映画の歴史 1940～			
		2 個性美の表現 1	モンローのメイクができる			
		3 個性美の表現 2	ヘップバーンのメイクができる			
3	1960年代のメイク	1 時代背景の理解	ツイギー等のトレンドを理解			
		2 ダブルライン	ダブルラインの表現			
		3 まつ毛強調のテクニック	描きまつ毛、付けまつ毛の表現			
4	エアブラシ	1 使用する意味と効果	利点と効果を理解			
		2 機材の使い方	正しく機材を使用できる			
		3 施術	美しく仕上げられる			
5	特殊メイク	1 アザの表現	自然なアザが表現できる			
		2 傷の表現	プラストワックスが使用できる			
		3 火傷の表現	様々な火傷が表現ができる			
6	和装花嫁	1 文化的背景の理解	結婚式、神の違いを理解			
		2 ベースメイクアップ	紅、中高を理解、表現できる			
		3 ポイントメイクアップ	笹眉、唇の輪郭修正			
7	動画撮影のメイクアップ	1 撮影現場で求められるもの	屋内、屋外での違いを理解			
		2 時間的制約があるとき	短時間でメイクを仕上げられる			
		3 効果的な化粧直し	リタッチの方法を理解			
8	舞台メイク(ストレート)	1 舞台メイクの特殊性	デイリーメイクとの違いを理解			
		2 距離による見え方の違い	見え方の違いを理解			
		3 照明による見え方の違い	見え方の違いを理解			
9	舞台メイク(エイジメイク)	1 老化によって現れる変化	老化による変化を理解			
		2 ベースメイクアップ	血色の良し悪しを理解			
		3 シワの表現	シワの現れる場所を理解			
10	高齢者へのメイク	1 マッサージ	基本的なマッサージが行える			
		2 若々しく見えるメイク	老化のサインを消せる			
		3 健康的に見えるメイク	健康的に見えることができる			

それらの委員の評価表を同一分類で照らし合わせ整理する

ADVANCED MAKEUP PROJECT

上級メイク 照らし合わせ		
A	B	C
ファッションメイク		年代メイク
SFX(特殊メイク)		アザ、タトゥーの消し方
		白塗りメイク
撮影メイク		撮影メイク
フェイスペインティング		舞台メイク
エイジングメイク		老人メイク
インスピレーション		アートメイク
	トータルバランス	トータルバランス

ADVANCED MAKEUP PROJECT

中級メイク 照らし合わせ						
	A	B	C	D	E	F
1	パーティメイク			洋装メイク		
2	和装メイク		和装ブライダルメイクアップ	和装花嫁・和装メイク		和装メイク
3	立体分析					
4	骨格分析		顔分析			メイク造形学(骨格)
5	イメージメイク I キュート or クール					イメージメイク I キュート or クール
6	イメージメイク II エレガント or グラマラス					イメージメイク II エレガント or グラマラス
7	洋装ブライダルメイク		洋装ブライダルメイクアップ	セレモニーメイク		ブライダルメイク
8	似合う色の見つけ方		パーソナルカラー	パーソナルカラー		
9	カウンセリング法	心理面に影響するメイクアップ	ロールプレイング	アンチエイジング		カウンセリングメイク
10	スチール撮影のメイク	撮影を考慮するメイクアップ				写真館メイク
11		個性表現としてのメイクアップ				
12		自己演出としてのメイクアップ				
13			色と形と質感 デザインメイク			
14				ポイントメイク	ポイントメイク	
15				スキンケア		
16				ファンデーション	ベースメイク	ファンデーションの特徴
17					トータル	
18					接客対応	

これより理論・技術の両面より調整をおこなう。集約できるところは集約し、評価項目を見直す。

初級、中級の最終版は先に提示したものである。

しかし、上級はコンセンサスを得ることはできなかった。上級では感性や芸術性が評価されるのであるなら、それらは評価できないとした。上級レベルで案を出した委員は 3 名にすぎなかった。案を出した委員は、職業訓練的または感性評価を避けるものである。

ループリックによる評価マトリックの作成

1:エアークラシメイク ビューティー 初級

2:エアークラシメイク ビューティー 中級

3:エアークラシメイク ビューティー 上級

4:タトウカバー 中級

5:ボディアート 中級

エアークラシ部会

6:特殊メイク 傷メイク

特殊メイク部会

エアープラシメイクアップ 評価方法 初級

学科・クラス

日付

番号(ID)

名前

	C(1点)	B(2点)	A(3点)	評価
知識	分解・掃除	ハンドピースの分解・組み立てにおいて不正確な箇所があり、掃除も不十分である。 ハンドピースの内部構造、各部の役割ともに理解出来ない箇所がある。	ハンドピースの構造は出来ているが分解・組み立てにおいて不正確な箇所がある。 ハンドピースの内部構造、もしくは各部の役割のどちらかで理解出来ない箇所がある。	ハンドピースの分解・掃除・組み立てを手順通りに行える。 ハンドピースの内部構造、各部の役割を理解している。
	構造	ハンドピース、コンプレッサー、レギュレータの役割を説明出来る。 各部役割のバックレサールを運ぶ事が出来ない。	ハンドピース、コンプレッサー、レギュレータの役割を理解しているものの、ノズル口徑に合ったスベックのコンプレッサーを運ぶ事が出来ない。	ハンドピース、コンプレッサー、レギュレータの役割を理解し、ノズル口徑に合ったスベックのコンプレッサーを運ぶ事が出来る。
	化粧品・浄液	エアープラシ化粧品の種類と洗浄液の組み合わせ、各化粧品の特徴(持ちや仕上がり)の質感の違いも理解出来ない。	エアープラシ化粧品の種類と洗浄液の組み合わせは理解出来ているが、各化粧品の特徴(持ちや仕上がり)の質感の違いは理解出来ない。	エアープラシ化粧品の種類と洗浄液の組み合わせも、各化粧品の特徴(持ちや仕上がり)の質感の違いも理解出来る。
	特徴	エアープラシとハンドアブライによるファンデーションの違いを説明出来ない。	エアープラシとハンドアブライによるファンデーションの違い(薄塗、均一性、ノックアップ)の説明が不十分である。	エアープラシとハンドアブライによるファンデーションの違いを説明出来る。(薄塗、均一性、ノックアップ)
基本姿勢	構え方・姿勢	塗布面によってはハンドピースのカップと床を平行に構える事が出来ない、もしくは左右に倒してしまう。	塗布面によってはハンドピースのカップと床を平行に構える事が出来ない、もしくは左右に倒してしまう。	塗布面がかわってもハンドピースのカップと床を平行に構える事が出来る、かつ、左右に倒す事もない。
	トリガーの動作	作業中も、色変えや掃除の際も、押す→引く→押し戻し→離すの一連の動作が出来ていない。 Oのサイズに合わない中心を狙えていない、もしくは距離が正確でない為、極端にはみ出したり入っているものがある。	作業中は押す→引く→押し戻し→離すの一連の動作が出来ているが、色変えや掃除の際にはみ出たり入っているものがある。 Oのサイズに合わない中心を狙えていない、もしくは距離が正確でない為、極端にはみ出したり入っているものがある。	作業中、色変えや掃除の際も押す→引く→押し戻し→離すの一連の動作が出来ている。 Oのサイズに合わない中心を狙えていない、かつ、距離も正確である。
基本技術	面線	面線でない、かつ、吹き付け始めと終わりのいずれかにおいて、ハンドピース本体の動きを止めた状態でトリガー操作を行っている為、タマになっている。	面線ではないが、吹き付け始めと終わりのいずれかにおいて、ハンドピース本体の動きを止めた状態でトリガー操作を行っている為、タマになっている。	吹き付け始めと終わりに、ハンドピース本体の動きを止めずにトリガー操作を行っている、面線である。
	均等	薄塗での吹き付けが出来ておらず塗り濃淡だけである、もしくはトリガーの引き過ぎや距離が近い為、線になっている箇所がある。	薄塗での吹き付けが出来ておらず塗り濃淡だけである、もしくはトリガーの引き過ぎや距離が近い為、線になっている箇所がある。	ローリングを行い口の中を薄く均等に吹き付けられている、ムラや線もない。
	グラデーション	段階的なグラデーションが出来ていない、かつ、線や色ムラになっている箇所もある。 エッジを出せていないうえに、光と陰が不自然であったり、線やムラもある。	段階的なグラデーションは出来ているが、線や色ムラになっている箇所がある。 エッジを出せているが、光と陰が不自然であったり、線やムラがある。	段階的なグラデーションが出来ている、線や色ムラもない、ステンシルのエッジを出せている、線やムラがなく、光と陰の位置が自然で球体に見える。
	吹き始めの動作	顔の外ではなく吹付け箇所の前でいきなりエアールを出している、さらに、ローリングやスウィングを行っていない場合(フェイスラインで直線移動)がある為ムラになっている。	顔の外ではなく吹付け箇所の前でいきなりエアールを出している、もしくは、ローリングやスウィングを行っていない場合(フェイスラインで直線移動)がある為ムラになっている。	顔の外でエアールを出してから、吹付け箇所にハンドピースを移動させている、ローリングやスウィングを行っている為ムラが少なく仕上がっている。
ファンデーション	構え距離	吹付け箇所に関わらず距離やローリングの大きさが一定で、吹付け箇所に対してハンドピースが正面になっていない為、睫毛や眉や耳に付いている。	吹付け箇所に関わらず距離やローリングの大きさが一定で、吹付け箇所に対してハンドピースが正面になっていない。	吹付け箇所の立体に合わせてハンドピースが正面になる様に構えている、箇所により、距離やローリングの大きさを変える。
	トリガー田力	ファンデーションが霧状に飛んでいるのが見える、もしくはファンデーションが粒状になる程圧力が弱すぎる。	ファンデーションが霧状に飛んでいるのが見える、もしくはファンデーションが粒状になる程圧力が弱すぎる。	トリガーの引き方が適切である、かつ、箇所に応じてレギュレーターを調整している。
	コンシール	エアープラシで吹付け出来ない箇所(目の下や深い皺)を理解しておらずコンシールしていない。	エアープラシで吹付け出来ない箇所(目の下や深い皺)を理解しコンシールしているが、エアープラシで行った箇所との境目が目立つ。	エアープラシで吹付け出来ない箇所(目の下や深い皺)を理解しコンシール出来ている、エアープラシで行った箇所との境目も自然である。

・各項目は1～8ポイントにわけ、16項目の評価を行います。合計48ポイントが最高得点です。
16-31点:要練習、32-38点:基礎技術、39-43点:充的な技術、44-48点:名人級技術

合計得点

ADVANCED MAKEUP PROJECT

エアープラシメイクアップ 評価方法 中級

学科・クラス

目次

番号 (ID)

名前

	C (1点)	B (2点)	A (3点)	評価
知識	必要 ハンドピース コンプレッサ	エアープラシの必要と理由について説明出来ない、 説明は不十分である。 コンプレッサとハンドピースの組み合わせについて理解が出来ていない、種類を把握して使用する用途に合わせることが出来ない。	エアープラシの必要と理由について説明出来る。 コンプレッサとハンドピースの組み合わせに注意し、また、特徴を理解し用途に合わせることが出来る。	
	フィード	フィードの種類も用途も理解出来ない、 来ていない。	フィードの種類を把握しているが、それぞれの用途は理解出来ない。	
	化粧品 安全性	エアープラシ用化粧品成分も、吸引における安全性についての理解も不十分である。	エアープラシ用化粧品の成分を十分に理解しているが、吸引における安全性について理解していない箇所がある。	
	トラブル	インクやエアークラッシュ等が出ない等のトラブルが発生した際に何が原因なのか予測出来ない、さらに光と煙が不自然であったり、線や玉球が飛んでいる、さらに光と煙が不自然であったり、線や玉球が飛んでいる、さらに光と煙が見えない。	インクやエアークラッシュ等が出ない等のトラブルが発生した際に何が原因なのか予測出来るが、即座には対応出来ない。 煙の少ない状態で線や玉球がなく、光と煙の位置も自然で球体に見えるが、光の当たる角度を変えて描く事が出来ない。	
	立方体、 マスキング	立方体、三角錐等のマスキングを作成出来ない、既存のマスキングであっても立体に見える様子が出来ない。	立方体に見えらる様に吹付け出来るが、マスキングを作成出来ない。	
基本技術	スハンドリング	ニードルキャップを外したものと、砂目キャップを使用したもののどちらでも均等に砂目を描く事が出来ない。	ニードルキャップを外したものと、砂目キャップを使用したもののどちらでも均等に砂目を描く事が出来る。	
	直線・曲線	一定の太さのしか描く事が出来ない、 太い線と細い線を連続で描く事が出来ない。	様々な太さやカーブの曲線、様々な太さの直線のいずれかを描く事が出来る。 太い線と細い線を連続で滑らかに描く事が出来る。	
	ループ	エアープレート等を使い、エッジをほかしたものと効かせたものいずれかを描く事が出来る、またエッジを効かせた側の反対に向かってグラデーションをかける事が出来ない。	エアープレート等を使い、エッジをほかしたものと効かせたものを描く事が出来る、またエッジを効かせた側の反対に向かってグラデーションをかける事が出来る。	
	ファンデーション カントア	モデルの肌色に合わせておらず、カントアが余りな箇所についていたり、適量でない為、不自然な仕上がりになっている。	モデルの肌色に合わせているが、カントアが余りな箇所についていたり、適量でない為、不自然な仕上がりになっている。 圧力や距離の調整を行っている。	
	ブラッシュ	発色の定着に時間差がある事を理解しておらず、一気に吹き付けようとしていたり、左右交互に行っていない為、左右の濃さが均一ではない。	発色の定着に時間差がある事は理解しているが、左右交互に行っていない為、左右の濃さが均一ではない。	
ビューティーメイク	アイブロウ	スチールを浮かせていない為、くっきりとした不自然なラインに仕上がっている、立体に合わせハンドピースの向きを変えていない為、場合により鼻側面やこめかみ等余りな部分についている、左右交互に行っておらず濃さに仕上がっている。	スチールを軽く、スチールを浮かせている状態に吹き付けているが、アイホルの立体に合わせハンドピースの向きを変えていない、場合により圧力や距離の調整を行っている。 左右交互に行い自然な赤味で仕上がっている。	
	アイシャドウ	圧力を弱くし、睫毛に付かない様にアイシャドウ等でカバーしている、アイホルの立体に合わせハンドピースの向きを変えていない、場合により鼻側面やこめかみ等余りな部分についている、左右交互に行っておらず濃さに仕上がっている。	圧力を弱くし、睫毛に付かない様にアイシャドウ等でカバーしているが、アイホルの立体に合わせハンドピースの向きを変えていない、場合により鼻側面やこめかみ等余りな部分についている、左右交互に行い同じ濃さに仕上がっている。	
	アイシャドウ (グラデーション)	エアープレートとフリーハンドを用いて縦グラデと横グラデのいずれも出来ない、 濃さを揃えていない為、洗浄等によるロスがアイシャドウが目立つ。	エアープレートとフリーハンドを用いて縦グラデと横グラデのいずれも出来る。 濃さを揃え、ハンドピースの洗浄を少なくし、効果よくメイクを行う事が出来る。	
	リップ	使用しているファンデーションの滑りに合わせてパウダーや修正方法を、クレンジングを理解していない。	使用しているファンデーションの滑りに合わせてパウダーや修正方法を、クレンジングのいずれかで行っている。	
	クレンジング 修正・クレンジング			

合計得点

・各項目は1～3ポイントにわけ、18項目の評価を行います。合計54ポイントが最高得点です。
18-36点:要練習、37-43点:基礎技術、44-48点:充分な技術、49-54点:名人級技術

エアープランシメイクアップ 評価方法 上級

学科・クラス

日付

名前

番号(ID)

	C(1点)	B(2点)	A(3点)	評価
知識	需要	アート、ビューティー分野だけでなく、特殊、コスメディカル、死化粧においてのエアープランシの有用性についての解説が出来ない。	アート、ビューティー分野だけでなく、特殊、コスメディカル、死化粧においてのエアープランシの有用性について、いずれかの解説が不十分である。	アート、ビューティー分野だけでなく、特殊、コスメディカル、死化粧においてのエアープランシの有用性について解説出来る。
	機械	各エアープランシ機器について、種類や用途の解説が出来ない。	各エアープランシ機器について、種類や用途の解説が不十分である。	各エアープランシ機器について、種類や用途を解説出来る。
	化粧品安全性	各エアープランシ用化粧品成分も、吸引における安全性についての解説も不十分な箇所がある。	各エアープランシ用化粧品成分を十分に解説ができるが、吸引における安全性について解説出来ない箇所がある。	各エアープランシ化粧品の成分を吸引における安全性について十分に解説できる。
基本解説	基本技術	初級、中級の基本技術がどのような部分で使用されるのか解説出来ない。	初級、中級の基本技術がどのような部分で使用されるのか解説が不十分な箇所がある。	初級、中級の基本技術がどのような部分で使用されるのか解説出来る。
	ステンシル	ステンシル作成、構造についての解説のどちらも不十分である。	ステンシル作成、構造についての解説のいずれかが不十分である。	ステンシルを作成出来る。また構造についての解説が出来る。
技術	ビューティーメイク	ナチュラルメイク～フォーミュラメイクまでの様々な要望に対応する事が出来ない。	要望に合わせ、ナチュラルメイク～フォーミュラメイクのうちいずれかが不十分である。	要望に合わせ、ナチュラルメイク～フォーミュラメイクまで対応する事が出来る。
	アート(アニマル)	動物の顔を人間落とし込む事や、解説が出来ない。	イタ科、ネコ科の動物を人間の顔に落とし込む事が出来る。またその解説が出来ない。	様々な動物を人間の顔に落とし込む事が出来る。また、その解説が出来る。
	アート(ボディ)	身体の起伏に合わせて筋肉を描ける。	衣服を来ている様に見せたり、身体の起伏に合わせて筋肉を描ける。	衣服を来ている様に見せたり、身体に起伏に合わせて筋肉、骨等を描く事が出来る。
	特殊メイク			
	カバールメイク			
死化粧				

上級は参考として載せてあります。特殊メイク、カバールメイク、死化粧等の評価マトリックスはアドバンス テキストで取り扱います。

カバナーメイク(タトゥカバナー)

学科・クラス

日付

評価方法 中級

名前

番号 (ID)

		C (1点)	B (2点)	A (3点)	評価
知識 ウエイト1	需要	タトゥーカバナーの需要と理由のどちらも理解出来ていない箇所がある。 タトゥーの状態に合わせた道具や化粧品の使い分けが出来ない。	タトゥーカバナーの需要と理由のいずれかにおいて理解出来ていない箇所がある。 タトゥーの状態に合わせた道具や化粧品の使い分けに適切でない箇所がある。	タトゥーカバナーの需要と理由について理解出来ている。	
	道具	タトゥーカバナー用の化粧品の成分と安全性について理解していない。	タトゥーカバナー用の化粧品の成分と安全性について理解していない箇所がある。	タトゥーの状態により道具や化粧品を適切に使い分けられる事が出る。	
	化粧品 安全性	タトゥーカバナー用の化粧品の成分と安全性について理解していない。	タトゥーカバナー用の化粧品の成分と安全性について理解していない箇所がある。	タトゥーの状態により道具や化粧品の成分と安全性について十分に理解している。	
	トラブル	インクやエアークラッシュ等が原因で発生した際に何が原因なのか予測が出来ず対応出来ない。	インクやエアークラッシュ等が原因で発生した際に何が原因なのか予測は出来るが、即座には対応出来ない。	インクやエアークラッシュ等が原因で発生した際に何が原因なのか予測出来る。即座に対応出来る。	
基本技術 ウエイト3	カバナー1 (ベーストーン)	反対色を理解していない。薄膜でなく一気に吹き付けている。もしくは吹き付けがあまりく色が透けてしまう。墨の色が透けてしまふ。柄がわかってしまふ。	反対色に合わせた反対色で薄膜での吹き付けを行っているもの、カバナーが不十分で墨の色が透けている箇所がある。や、タトゥーの柄がわかる箇所がある。	反対色に合わせた反対色を使用し、墨の色が見えなくなるまで薄膜での吹き付けを行っている。柄がわからなくなる。	
	カバナー2 (スキントーン)	肌の色ムラや質感の差が不十分なためリアルな人肌に見えない。さらにはスキントーンが肌色に合っていない。	スキントーンをミックスし肌色に合わせたカラーでカバナーを出来ているが、肌の色ムラや質感の差が不十分なためリアルな人肌に見えない。	スキントーンをミックスし肌色に合わせたカラーでカバナーを出来ている。スバッティング等を使用し肌の色ムラや質感をリアルに見せる事が出来る。	

合計得点

各項目は1~3ポイントにわけ、6項目の評価を行います。項目はウエイトされています。
19点以下:要練習、20-25点:基礎技術、26-28点:充分な技術、29-30点:名人級技術

ADVANCED MAKEUP PROJECT

エアークラッシュメイクアップ アート・ボディアート

評価方法 中級

学科・クラス

日付

番号(ID)

名前

	C(1点)	B(2点)	A(3点)	評価
知識	エアークラッシュを使用した様々なアートメイクの需要と理由にのどちらも解出来ない箇所がある。 アートの種類に合わせた道具や化粧品を使い分けが出来ない。 アート用の化粧品の成分と安全性について理解していない。 インクやエアークラッシュが原因で発生した際に何が原因なのか予測が出来ない。 ステンシル、フリーハンドのどちらの場合もタトゥーメイクが出来る様な仕上がりになっている。 フラッシュに適切な素材やデザインを理解していない。また、ステンシル、フリーハンドのいずれも吹付けにムラが合ったり、グリッターやライオンストーン等を多様出来ない。 パーティーションに適切な素材やデザインを理解していない。また、ステンシル、フリーハンドのいずれも吹付けにムラが合ったり、グリッターやライオンストーン等を多様出来ない。	エアークラッシュを使用した様々なアートメイクの需要と理由のいずれかにおいて理解出来ない箇所がある。 アートの種類に合わせた道具や化粧品の使い分けに適切でない箇所がある。 アート用の化粧品の成分と安全性について理解していない箇所がある。 インクやエアークラッシュが原因で発生した際に何が原因なのか予測は出来るが、即座には対応出来ない。 ステンシルやフリーハンドを用いて皮膚の中にインクが入ったようなリアルなタトゥーメイクを行えるが、フリーハンドでは行えない。 ステンシルやフリーハンドを用いてパーティーションに適切な素材を使用し、リッターやライオンストーン等をバランスよく使用出来ない。 ステンシルを用いてパーティーションに適切な素材を使用し、リッターやライオンストーン等をバランスよく使用出来ない。	エアークラッシュを使用した様々なアートメイクの需要と理由について理解出来る。 アートの種類により道具や化粧品を適切に使分け出来る。 アート用の化粧品の成分と安全性について充分に理解している。 インクやエアークラッシュが出ない等のトラブルが発生した際に何が原因なのか予測出来る。即座に対応出来る。 ステンシルやフリーハンドを用いて皮膚の中にインクが入ったようなリアルなタトゥーメイクを行える。 ステンシルやフリーハンドを用いてパーティーションに適切な素材を使用し、リッターやライオンストーン等で華やかに仕上げる事ができる。 ステンシルやフリーハンドを用いてパーティーションに適切な素材を使用し、リッターやライオンストーン等で華やかに仕上げる事ができる。	
基本技術	目、鼻、口のバランスや形を理解しておらず、動物に見えない。1本1本の毛の質感も表現出来ない。 人どかけ離れた骨格の動物をメイクに落とし込む事が出来ない。様々な皮膚の質感を表現出来ない(毛だけでなく爬虫類、魚類の鱗等) 身体の起伏を無視してペイントを行っているため不自然である。塗りつぶしだけで、鱗や肌の質感の表現が出来ていない。光と陰を意識していない。 骨部分を白く塗りつぶしただけで平面的な骨に見える。また、位置や形も不正確である。	目、鼻、口のバランスや形は理解しているが、1本1本の毛の質感までは表現出来ない。 人どかけ離れた骨格の動物はメイクに落とし込む事が出来るが、様々な皮膚の質感は表現出来ない(毛だけでなく爬虫類、魚類の鱗等) 身体の起伏に合わせ、筋組織を描いているが、その形や構造が不正確な箇所がある。 光と陰を意識し、肌の質感や質感を描いているが、細かい部分(裝飾パーツや細かい目等)が粗く、リアルさに欠ける。 骨の位置や、形に不正確な箇所がある。	目、鼻、口のバランスや形を理解しており、エアークラッシュ、フリーハンドの両方を用いて、1本1本の毛の質感も表現出来る。 人どかけ離れた骨格の動物もメイクに落とし込む事が出来る。様々な皮膚の質感を表現出来る(毛だけでなく爬虫類、魚類の鱗等) 身体の起伏に合わせ、人体模型のような筋組織を描く事が出来る。 光と陰を意識し、肌の質感や質感、その他のパーツ(ボタンやファスナーや細かい目等)を細かく表現出来ている為、着ている様に見える。 人体の骨の構造を理解しており、正しい位置、形で描けている。	

合計得点

・各項目は1~3ポイントにわけ、12項目の評価を行います。合計36ポイントが最高得点です。
24以下点:要練習、25-28点:基礎技術、29-32点:充分な技術、33-36点:名人級技術

ADVANCED MAKEUP PROJECT

アドバンスプロジェクトのFXメイク評価表

受講生の作成した特殊メイクの素材別5種類の傷メイクと付け鼻メイクの成果を下記のように評価します。各項目は1～4ポイントにわけ、6種類のメイクを行います。合計24ポイントが最高得点です。

日付
名前

	1	2	3	4	得点
傷メイク ワックス	傷の位置、形がよくない。色使いがよくない。肌とのブレンド範囲がむやみに広すぎたり汚い。表面がポコポコして不自然。	傷の位置、形があまりよくない。色使いが不自然である。肌とのブレンド範囲が汚い。表面の質感がテクスチャャーがいまいちよくない。	傷の位置、形はまあ良い。色使いは自然でリアルにみえる。肌とのブレンド範囲もまあ良い。表面の質感がテクスチャャーがきれい。	傷の位置、形がとても良い。色使いが自然でとてもリアルにみえる。肌とのブレンドがスムーズで良い。表面の質感がテクスチャャーもきれい。	
傷メイク スカルブジェル	傷の位置、形がよくない。色使い、ハイライト、シャドウの使い方がよくない。肌とのブレンド範囲がむやみに広すぎたり汚い。	傷の位置、形があまりよくない。色使いが不自然である。肌とのブレンド範囲が汚い。表面の質感がテクスチャャーがいまいちよくない。	傷の位置、形はまあ良い。色使いは自然でリアルにみえる。肌とのブレンド範囲もまあ良い。表面の質感がテクスチャャーがきれい。	傷の位置、形がとても良い。色使いが自然でとてもリアルにみえる。肌とのブレンドはとも自然でリアル。表面の質感がテクスチャャーもきれい。	
傷メイク トランスファー	傷の位置、形がよくない。色使いがよくない。肌とのブレンド範囲がむやみに広すぎたり汚い。	傷の位置、形があまりよくない。色使いが不自然である。肌とのブレンド範囲が汚い。表面の質感がテクスチャャーがいまいちよくない。	傷の位置、形はまあ良い。色使いは自然でリアルにみえる。肌とのブレンド範囲もまあ良い。表面の質感がテクスチャャーがきれい。	傷の位置、形がとても良い。色使いが自然でとてもリアルにみえる。肌とのブレンドはとも自然でリアル。表面の質感がテクスチャャーもきれい。	
火傷メイク ゼラチン	傷の位置、形がよくない。色使いが濃すぎると不自然。肌とのブレンド範囲がむやみに広すぎたり汚い。水泡の感じができにくい。	傷の位置、形があまりよくない。色使いが不自然。肌とのブレンド範囲が汚い。表面の質感がテクスチャャーがいまいちよくない。水泡感がでない。	傷の位置、形はまあ良い。色使いは自然でリアルにみえる。肌とのブレンド範囲もまあ良い。表面の質感がテクスチャャーがきれい。水泡感も出ている。	傷の位置、形がとても良い。色使いが自然で水泡感もとてもリアル。肌とのブレンドはとも良い。表面の質感がテクスチャャーもきれい。	
火傷メイク ラテコットン	傷の位置、形がよくない。色使いがよくない。シャドウ、ハイライトが生かされていない。肌とのブレンド範囲が不自然。凹凸の深さが足りない。	傷の位置、形があまりよくない。色使いが不自然。肌とのブレンド範囲が汚い。表面の質感がテクスチャャーがいまいちよくない。凹凸の深さが足りない。	傷の位置、形はまあ良い。色使いは自然でリアル。肌とのブレンドもまあ良い。表面の質感がテクスチャャーがきれい。凹凸の深さがよ。	傷の位置、形がとても良い。色使いが自然でとてもリアル。肌とのブレンドはとも良い。表面の質感がテクスチャャーもきれい。凹凸も自然。	
アブライエンス 鼻ピース	ピースの貼り位置がとも不自然でよくない。エッジの処理が汚くてラインが目立つ。肌との馴染ませがよくない。色の合わせがきたない。	ピースの貼り位置が少し汚く。ラインも目立ちにくい。肌との馴染ませが少しよくない。色の使い方が不自然。	ピースの貼り位置はまあ自然。エッジの処理もきれいで、ラインも目立ちにくい。肌との馴染ませもきれいな。色使いが自然でまあリアル。	ピースの貼り位置はともよい。エッジの処理もスムーズでラインもわからない。肌との馴染ませもきれいな。色使いがとも自然でリアル。	

1～7点 要練習	8～16点 基礎技術	17～20点 充分な技術	21～24点 名人級技術	合計得点
----------	------------	--------------	--------------	------

ADVANCED MAKEUP PROJECT

平成 26 年度文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業
 「メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証
 (略称:メイクアップ アドバンス プロジェクト・新技術の導入と応用)」

メイクアップ アドバンス プロジェクト委員

プロジェクト責任者	橋本 邦比兒	専門学校東京ビジュアルアーツ・校長
事務責任者	三井 洋	専門学校東京ビジュアルアーツ・学務部長
事務局	高田愛子	専門学校東京ビジュアルアーツ・学科長
事務局	金子知巳	専門学校東京ビジュアルアーツ・事務局
運営責任者	浅野輝幸	マリブTEMPTU・代表
評価委員長	小田切多喜	専門学校東京デザイナー学院・メイク学科
評価委員	ティニー西村	山野美容芸術短期大学・教授
評価委員	山崎紀代	国際デザイン・ビューティカレッジ・講師、 百日草理事
評価委員	井上和彦	カズメイクアップクリエイション・代表
評価委員	井口浩子	日本メイクアップアーティストネットワーク (JMAN)・事務局長
評価委員	持田美千代	三善メイクアップ研究所
評価委員	田上聖晃	群馬県美容専門学校・講師
エアブラシ委員長	浅野覚仁	マリブTEMPTU、専門学校東京ビジュアルアーツ ハリウッドビューティ(専)講師
エアブラシ委員	奥山 一成	山野美容専門学校・講師
エアブラシ委員	奈須みゆき	早稲田美容(専)、ハリウッドビューティ(専)、 東京ビューティアート(専)千葉校講師
エアブラシ委員	大嶋晃子	群馬県美容専門学校・講師
エアブラシ委員	岡野訓子	静岡デザイン専門学校・講師
死化粧委員長	宿原寿美子	日本ヒューマンセレモニー専門学校・講師
死化粧委員	服部慎吾	有限会社 セレモ九州要
死化粧委員	山崎美幸	株式会社長野エーコーブサプライ
特殊メイク委員長	江川悦子	株式会社メイクアップディメンションズ・代表
特殊メイク委員	荒川紀之	株式会社メイクアップディメンションズ
特殊メイク委員	山岸福明	株式会社メイクアップディメンションズ
特殊メイク委員	百武朋	株式会社百武スタジオ・代表
特殊メイク委員	中田彰	株式会社ゾンビストック・代表
特殊メイク委員(大阪)	寺川万里子	大阪デザイナー専門学校・講師
薬事委員長	大嶋耐之	金城学院大学薬学部・教授
アンケート・男女共同参画委員	浅野みどり	名古屋大学医学部保健学科・教授
大阪運営委員	石川武志	大阪デザイナー専門学校・学科長
大阪運営委員	川添雅英	ECCアーティスト専門学校・事務局
助言・協力	佐藤琴子	ココスタジオ・代表
助言・協力	石原 瞳	株式会社ラッシュドールジャパン・代表
助言・協力	国島徳博	株式会社インテンド・代表
助言・協力	田中浩至	嶺美会・代表
助言・協力	西尾英二	NPO全国介護理美容福祉協会・理事

メイクアップ アドバンス プロジェクト委員会

メイクアップ アドバンス プロジェクト 代表校 専門学校 東京ビジュアルアーツ

〒 102-0081 東京都千代田区四番町 11

電話 03-3321-0206

学修達成度評価方法の検討と評価基準の作成

制作・著作:メイクアップ アドバンス プロジェクト委員会 達成度評価部会
達成度評価委員

小田切 多喜(東京デザイナー専門学校)
ティニー西村(山野美容芸術短大)
井上 和彦(カズメイクアップクリエイション、前早稲田美容専門学校)
山崎 紀代(国際デザイン・ビューティカレッジ、百日草)
井口 浩子(JMAN事務局長)
持田 美千代(三善メイクアップ研究所)
田上 聖晃(群馬県美容専門学校)
江川悦子(株式会社メイクアップディメンションズ)
浅野 覚仁(マリブTEMPTU、専門学校東京ビジュアルアーツ講師)
奥山 一成(山野美容専門学校)
奈須 みゆき(早稲田美容専門学校、ビューティアート千葉校、
ハリウッド美容専門学校講師)
岡野 訓子(静岡デザイン専門学校)
浅野 輝幸(マリブTEMPTU)
報告書制作 小田切 多喜

平成 26 年度文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業
プロジェクト名称

「メイクアップ分野における中核的専門人材養成のためのプログラム開発と実証
(略称:メイクアップ アドバンス プロジェクト・新技術の導入と応用)」

文部科学省の委託事業に採択され支援を受け作成したコンテンツは広く開放すべきとされ、下記
ホームページにおいて公開されています。詳細はホームページをご覧ください。

メイクアップ アドバンス プロジェクト ホームページ

<http://www.tva.ac.jp/airbrushPJT>

e-mail abproject@tva.ac.jp

平成 27 年(2015 年)2 月 28 日発行

制作・著作:メイクアップ アドバンス プロジェクト委員会

メイクアップ アドバンス プロジェクト 代表校 専門学校 東京ビジュアルアーツ

プロジェクト責任者 東京ビジュアルアーツ校長 橋本 邦比兒

〒 102-0081 東京都千代田区四番町 11

電話 03-3321-0206